

児童発達支援における自己評価結果(公表)

公表： 令和 6年 4月 30日

事業所名 ILIS CLUB 八尾南

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・個室が2つあり、フロア内は、前面バリアフリーとなっております。	個別、小集団、集団療育など活動内容や特性に合わせたスペースの使い方をしています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	・療育によっては、人員が手薄な時がある。	お子さまの特性や支援内容によって適切な人員配置をしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	・施設内は、トイレを含め、バリアフリー化されております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・フロア内は、常に整理整頓された状態で、毎日、掃除と消毒し安心して過ごせます。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	50%	50%	・気づいたことを記録し、朝礼や終礼で共有しています。	療育の専門性を高めて質の高い療育を提供できるようにしていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・保護者様からご指摘して頂いた内容を、改善策を検討し事業所運営に務めています。	ご意見ご要望をいただけるように関係性を築き環境を整えていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・保護者様からご指摘して頂いた内容を、改善策を検討し事業所運営に務めています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	50%		社内の評価結果をスタッフ間で話し合い業務の改善に努めます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	33%	67%	・社内外で定期的に研修を行っています。	専門性を高めるため積極的に参加するようにしていきます。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・保護者のニーズを考え作成し、事業所内で担当者会議を行っています。	担当者会議を実施しお子さまの成長や課題に応じた支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	67%	33%		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	・ご家族、学校、園と連携をして、情報共有をして具体的な支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・支援内容を職員間で共有して支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・事業所会議で翌月の療育の内容の立案や検討を行っています。	1人のスタッフが決めるのではなく複数人で話し合い立案しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	67%	33%	・事業所会議などで固定化しないよう話し合いをしています。	発達段階に適したプログラムを工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・子どもの発達段階に応じて個別・集団・講座を組み合わせ個別支援計画を作成しています。	お子さまの発達段階や特性に応じて個別、小集団、集団活動を組み合わせています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・朝礼時に当日の療育内容を話し合い、支援内容の共有や役割の確認をしています。	スタッフ間での情報共有をし次回の支援に繋げています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・終礼時などに振り返りを行い支援中の様子を共有して記録しています。	スタッフ間での情報共有をし次回の支援に繋げています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・朝礼終礼ノートに支援内容連絡事項などを記載しています。	できたこと、できなかったこと、もう少しでできそうなことを記録し支援の検証、改善に努めています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・保護者様と面談などでモニタリングを実施しています。	無理な目標や必要性が低くなった、達成した目標を評価し次の目標設定をしています。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・担当者会議には、児童発達支援管理責任者と適切な職員が参画しています。	会議での内容は全スタッフにも周知しています。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	・各関係機関と連携を行いお子様の支援を行っています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	33%	67%		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	33%	67%		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	67%	33%	・保育園、こども園、幼稚園等保護者様の同意のもとに情報共有させて頂いています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	67%	33%	・小学校、特別支援学校等保護者様の同意のもとに情報共有をさせて頂いています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	50%	50%	・研修会に参加しています。	関係機関と連携を図り情報収集や情報交換をし支援へと繋げていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	50%	50%		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	67%	33%		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・連絡帳や送迎時に、直接できたことや課題などをお伝えしています。	必要に応じて電話連絡を行い保護者様からもご連絡いただけるように関係性を築いていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	50%	50%		ご家庭でできる療育の提案や声掛けのポイントなどアドバイスさせていただきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時にわかりやすく説明しています。	内容に変更があった場合は都度ご説明しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	・日々、保護者様からのご意見やご要望にお応えできるよう心掛けています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・送迎時やモニタリングなどで必要に応じた相談や支援を行っています。	ご相談しやすい環境作りと定期的にアセスメントや面談を行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	50%		・今後、できるよう検討してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・保護者の方からの相談や周知、説明については迅速かつ適切に対応できるように心がけています。	昨今の状況を踏まえて開催方法など検討していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月のお便りなどで活動の様子を発信しています。	随時体制を整え相談窓口の周知を行います。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・鍵付きの書庫や金庫にて保管しています。	おたよりは毎月1回ブログ、インスタは月2回以上情報を発信しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	33%	0%	・一人ひとりに対応をさせて頂いています。	おたよりやブログ、インスタの写真掲載についてはダブルチェックを行い同意を得たお子さまのみ掲載しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	33%	67%		必要に応じて電話対応や個室にての面談などで対応していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	・職員では周知しておりますが保護者様へは周知できる機会が少ないため、お伝えできる機会を設けていきます。	昨今の状況を踏まえて開催方法など検討していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・毎月、避難訓練をしたり救命救急の研修をうけています。	月に1回避難訓練を行っているが保護者様への周知ができていないのでおたよりなどで定期的に情報を伝えていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・保護者様や学校と連携し都度、情報共有をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・食物アレルギー等の対応方法について一覧表を作成し職員間で共有しています。	食物アレルギーのあるお子さまが誤って食べてしまわないよう注意を払い方が一食べてしまった時の対応を日ごろから確認し落ち着いて対応できるようにしていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・毎日の朝礼、終礼時に職員間で共有を行い事例の話し合いをしています。	事業所内で危険箇所が無いか定期的に確認をし意見を出し合い防止に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・年に1回事業所内で虐待防止研修を実施しています。	虐待防止チェックリストを活用しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	・保護者様と話し合いを行い身体拘束に関する説明を行い同意を得て行っています。	現在、対象のお子さまのご利用ははませんがやむを得ずの場合は保護者様に十分説明をし了解を得たうえで個別支援計画に記載していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。